



## 校長からの夏休みの「宿題」？と「お願い」

『親子で仕事について話し合うこと』と『大人からの声掛け』の重要性について」の巻

佐渡市立河崎小学校長 濱田晴明

### 【宿題】 「お仕事インタビュー」

- Q1 大人が働いているのを見て、「仕事が楽しそう。早く働きたい。」と思った人？ → 0人  
Q2 その逆で、「大変そう。疲れている。」と思った人？ → 全員

ある会社の社長が、他校の小学生に向け、「働くことの大切さ」について授業した様子の一部です。私は、この様子を見てハッとしました。みなさんはどうですか？ 理由は、仕事の愚痴ばかりを家で言って、働くことの喜びを我が子に話したり見せたりしていなかったからです。仕事について、我が子にマイナスの部分しか伝えていませんでした。ちなみに、私は、中学校の時、夢は「農家」でした。「アイドル・歌手」ではありませんでした。「農家」を目指した理由は、**親の働く後ろ姿を見て、また、一緒に手伝ってみて、やりがいを感じたから**です。親は仕事の文句は言っていませんでした。作物がよく育つことの工夫や喜びを常に語っていました。私は、これらのことを作文に書いたら、当時の青少年主張大会で学校代表になり、発表することにまでなりました。その後、反響が大きく、新聞に掲載されたり、ある高校の先生が入学の勧誘のためにわざわざ自宅まで来たりしました。結局、親子で話し合い、「農家をやるなら、自分がやる農家ではなく、これからは人を雇ってやる農家でなければいけない。」と言われ、考え直し、二転三転した後、今の職業になりました。

さて、将来の夢を持つだけでは学力はあがりませんが、**「夢をかなえるために勉強すること」を目標にして勉強に取り組んだ子どもは、学年が上がるにつれて学習成績が上がる**というデータがあります。上記のデータと私の親としての失敗も含め、この休み中に、3年生以上の子どもたちに、校長より、夏休み中に、**家族で仕事のことについて話し合う「宿題」**を出しました。家族の中のどなたか一人の方に、仕事について、以下のことをインタビューしますので、お答えください。

- ① 仕事をやっていて、楽しいこと・喜び・良かったことなどを教えてください。  
② 逆に、仕事をやっていて、大変なこと・いやなことなどを教えてください。

子どもたちは、インタビューの後、「感想」「将来なりたい仕事」を書いてくることになっています。学校では、今後、子どもたちの夢の実現に向け、現在学んでいることが、将来にどんなことに役立つかを意味付けて指導していきます。



### 【お願い】 「子どもたちへの声掛け」



地域活性化のために、夏休み、子どもたちはラジオ体操をする場所に花を置き、育てます。水やりなどの姿を見たら、保護者・地域の皆様に、子どもたちに声掛けをしていただくとありがたいです。**声掛けにより、人のために働くことの達成感・満足度が得られ、今後も人のために働くようになります。**声掛け1回と2回ではそんな大きな差はないですが、全くなし(0回)と1回では、大きな差があります。

(これらのことは、私の同級生が統計的に分析し、学会で発表しました。)ちなみに、昨年度の保護者アンケートで、「**両尾・河崎地区の良さNo. 1**」は、「**地域の人たちが、子どもたちを見守ってくれる・面倒を見てくれる・声を掛けてくれる。**」でした。(感謝です。)この良さを今後も継続していただくとありがたいです。

最後になりましたが、子どもたち、保護者・地域の皆様にとって、思い出に残る夏となることを祈っています。

